

保険対象は以下の条件を満たす「ニコチン依存症」の患者です

- ① 直ちに禁煙しようと考えていること
- ② ニコチン依存症のスクリーニングテスト（TDS）が5点以上であること
- ③ 35歳以上の場合、ブリンクマン指数
（1日喫煙本数×喫煙年数）が200以上であること
例 1日20本×20年＝400
- ④ 禁煙治療を受けることを文書により同意していること

上記を満たさない方は、自由診療（保険適用外）とまります。
健康保険で治療を受けたことがある方は、前回の初回診療日から1年経過していることが必須です。

ニコチン依存症のスクリーニングテスト「TDS」

(5点以上で保険適応)

| 質問 | | はい (1点) | いいえ (0点) |
|--|--|------------|-------------|
| 問1 | 自分が吸うつもりよりも、ずっと多くタバコを吸ってしまっていましたか。 | | |
| 問2 | 禁煙や本数を減らそうと試みて、出来なかったことはありましたか。 | | |
| 問3 | 禁煙したり本数を減らそうとしたときに、タバコが欲しくて 欲しくてたまらなくなることがありましたか。 | | |
| 問4 | 禁煙したり本数を減らそうとしたときに、次のどれかがありましたか。(イライラ、神経質、落ち着かない、集中しにくい、ゆううつ、頭痛、眠気、胃のむかつき、脈が遅い、手の振るえ、食欲または体重の増加) (注) | | |
| 問5 | 問4でうかがった症状を消すために、またタバコを吸い始めることがありましたか。 | | |
| 問6 | 重い病気にかかったときに、タバコは良くないとわかっているのに吸うことがありましたか。 | | |
| 問7 | タバコのために自分に健康問題が起きているとわかっているにもかかわらず、吸うことがありましたか。 | | |
| 問8 | タバコのために自分に精神的問題(注)が起きているとわかっているにもかかわらず、吸うことがありましたか。 | | |
| 問9 | 自分はタバコに依存していると感じることがありましたか。 | | |
| 問10 | タバコが吸えないような仕事やつきあいを避けることが何度かありましたか。 | | |
| (注)禁煙や本数を減らしたときに出現する離脱症状(いわゆる禁断症状)ではなく、喫煙することによって神経質になったり、不安や抑うつなどの症状が出現している状態 | | チェックの数の合計 | |
| | | 個 | 個 |

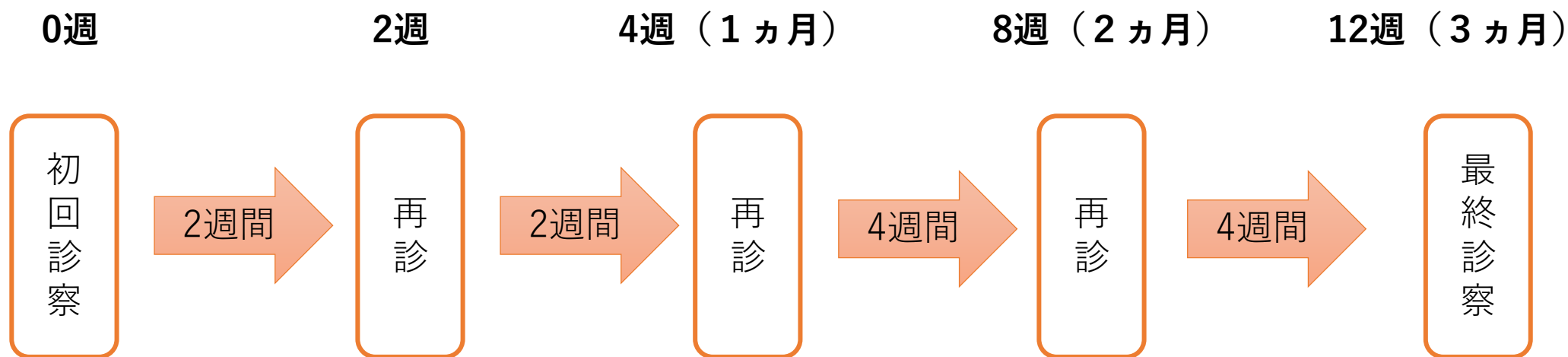
1日の平均喫煙本数 × これまでの喫煙年数換算表

35歳以上の方は200以上で保険適応となります。

ブリンクマン指数

| 一日の本数 | 5年 | 10年 | 15年 | 20年 | 25年 | 30年 | 40年 | 50年 | 60年 |
|-------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|
| 5本 | 25 | 50 | 75 | 100 | 125 | 150 | 200 | 250 | 300 |
| 10本 | 50 | 100 | 150 | 200 | 250 | 300 | 400 | 500 | 600 |
| 15本 | 75 | 150 | 225 | 300 | 375 | 450 | 600 | 750 | 900 |
| 20本 | 100 | 200 | 300 | 400 | 500 | 600 | 800 | 1000 | 1200 |
| 30本 | 150 | 300 | 450 | 600 | 750 | 900 | 1200 | 1500 | 1800 |
| 40本 | 200 | 400 | 600 | 800 | 1000 | 1200 | 1600 | 2000 | 2400 |

禁煙治療のスケジュール



基準的な禁煙治療は、3か月間（12週間）です。計5回の診察があります。